



令和6年10月7日

独立行政法人日本学術振興会

ドイツ研究振興協会（DFG）との覚書署名

独立行政法人日本学術振興会（理事長 杉野 剛）は、ドイツ研究振興協会（DFG）との覚書（MOC）に署名しました。

1. 署名式

令和6年10月7日（月）、京都国際会館にて、独立行政法人日本学術振興会（JSPS）及びドイツ研究振興協会（DFG）における、日独共同大学院プログラムに関する覚書の署名式が執り行われました。

ドイツ研究振興協会とは、2005年の覚書締結以来、様々な学術国際交流を行ってきました。数次の覚書改定を経て、この度期限終了に伴い、JSPS杉野理事長及びDFGベッカー理事長らが署名を行い、覚書を更新しました。

会談では、両機関の長年にわたる協力関係について改めて認識し、日独の大学院における組織的な学術国際交流を促進し、博士課程における若手研究者の育成を共同で進めることを確認しました。

2. 覚書概要

目的	日本及びドイツの大学院の組織的な学術国際交流促進
募集時期	随時
支援期間	最長5年間
経費分担	相互支援
募集分野	全分野
署名者	JSPS 杉野 剛理事長 DFG カティア・ベッカー理事長 ハイデ・アーヘンス事務総長